

第2次刈谷市男女共同参画プラン【改定版】進捗一覧

基本目標1 男女共同参画の意識づくり

基本目標	施策	No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度実績	実績詳細	達成度(R3)	R3年度目標	担当課
施策1 男女共同参画に関する啓発活動の推進																
1	1	1	広報紙等による啓発	市民だよりをはじめとするさまざまな情報媒体や啓発DVD等の貸し出しなどを通じ、男女共同参画についての意識の高揚を図るとともに、新しい情報媒体活用等、効果的な情報発信に努めます。 また、市民だよりにより男女共同参画に関する記事等を定期的に掲載し、情報提供・啓発活動を行います。	市民だより掲載回数	回	2	2	2	2	16	2	・市民だよりにより男女共同参画に関わる記事を掲載し(合計2回)、情報提供、啓発活動を行いました。 ・SNS等で男女共同参画に関する講座やイベント情報などを発信しました。 Twitter 48回更新 あいかり 6回	72%	6	市民協働課
1	1	2	ホームページの充実	市のホームページにおける男女共同参画関係の内容をより一層充実させ、閲覧者が親しみを感じられるような情報提供に努めます。	ホームページアクセス数	アクセス	18,281	15,639	31,256	85,745	97,055	21,997	・男女共同参画推進関連事業のサイトにおいて、男女共同参画プランや講座等の情報を随時更新し、見やすく整理しました。 (日本女性会議2020あいち刈谷関連の5,148アクセスを含む)	達成	30,000	市民協働課
1	1	3	イベントの開催	男女共同参画をテーマとしたイベント、講演会を開催し、市民が男女共同参画について学べる機会を提供します。	イベント参加人数	人	1,728	1,833	658	1,641	2,818	804	・ミライ刈谷2021(R3年11月6、7日 総合文化センター他) 荒木絵里香氏講演会 403人 かりや映画祭 上映映画「グリーンブック」 251人 各講座 150人	63%	2,500	市民協働課
1	1	4	講座の開催	ワーク・ライフ・バランスや多様性、LGBTなど、男女共同参画の様々な分野について広く学ぶことができる機会を提供します。	講座参加人数	人	201	252	266	194	47	77	・子育てカレッジ 全5回講座17人 ・ガールズカレッジ 42人 ・レディースカレッジ 中止 ・育休復帰にソナエル講座 18人	58%	300	市民協働課
施策2 子ども・若者の男女共同参画の意識づくり																
1	2	5	家庭における学習機会の提供(講座、イベントの開催)	次世代を担う子どもたちやその保護者を対象としたイベント等を開催し、固定的な性別役割分担意識にとらわれず個性と能力を發揮できるよう啓発します。	講座参加人数(延べ)	人	—	39	78	115	115	156	愛知教育大学の学生を講師として、小学校高学年(4～6年生)女子の科学への関心を高めるために、刈谷市の「夢と学びの科学体験館」で、夏休み期間中に自由研究として活用できる4つのテーマを設けた講座を1回開催しました。	達成	100	市民協働課
1	2	6	家庭における学習機会の提供(地域交流)	地域の方々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流などの取組みを行う放課後子ども教室を開校します。	放課後子ども教室の開催校数	校	14	14	15	15	15	15	全15小学校で実施しました。	達成	15	生涯学習課
1	2	7	学校教育の環境づくり	学校教育の現場において、固定的な性別役割分担に基づいた慣習・慣行が行われないよう、配慮します。	取組学校数	校	21	21	21	21	21	21	・小中学校における固定的な性別役割分担の内容に配慮しました。 ・中学校男女共習の体育授業では、新指導要領の改訂に伴い、男女必修化によるダンスと武道等、積極的に男女共習での履修機会を設けました。	達成	21	学校教育課
1	2	8	キャリア教育の推進	生徒が性別に関わりなく自由に進路を選択し、幅広い分野に進むことができるよう、進路指導の充実を努めます。また、職場体験を通じ、職業意識、自立した生き方等について学ぶキャリア教育を推進します。	職場体験実施校数	校	6	6	6	6	6	6	・生徒が性別に関わりなく自由に進路が選択できるよう、進路指導の充実を努めました。 ・幅広い職業選択ができるよう中学校2年生において職場体験学習を計画し、3日間の体験期間を設け実施しました。	達成	6	学校教育課
1	2	9	保育実習の実施	次代の親づりの視点を踏まえ、中学校3年生全生徒を対象に、男女が共同して行う子育てや家庭を持つことの重要性を学ぶ保育実習の機会を提供します。	保育実習実施校数	校	6	6	6	6	6	6	中学校3年生が男女共同で行う子育てや家庭を持つことの重要性を家庭科の授業で学習しました。	達成	6	学校教育課
1	2	10	学校行事における配慮	働く保護者が学校行事等に参加しやすくなるよう、各種学校行事の開催日時についての配慮します。	実施校数	校	21	21	21	21	21	21	子どもにとって父親、母親が学校行事に参加しやすいよう、休日に各種学校行事を開催しました。	達成	21	学校教育課
1	2	11	大学生との協働による推進	大学生との協働による男女共同参画のイベントを実施し、市民への意識啓発を行うとともに、大学生の男女共同参画意識を深めます。	イベント参加人数(延べ)	人	—	111	159	179	196	204	不確実な時代に多様なキャリアを築いている社会人から直接話を聞き、就職活動前の段階から、今後のキャリア形成について考えるために、「大学生のためのキャリアデザインワークス」を開催しました。参加人数8人	41%	500	市民協働課

基本目標	施策	No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度実績	実績詳細	達成度(R3)	R3年度目標	担当課
1	2	12	高校生との協働による推進	高校生との協働による男女共同参画の広報活動を実施し、市民への周知と、参加する高校生の男女共同参画意識の啓発を行います。	高校生参加人数(延べ)	人	—	95	214	311	311	311	高校生を対象として、社会で活躍する大人と出会い、進路選択の視野を広げることを目的に「刈谷×キャリアチャレンジDAY」の開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止となりました。	達成	100	市民協働課
施策3 市役所職員の男女共同参画意識の向上																
1	3	13	啓発業務への参画	市役所職員が啓発用リーフレットを作成することで、男女共同参画の理解を促進します。また、作成したリーフレットを活用し、職員及び市民の意識向上に努めます。	リーフレット作成人数(延べ)	人	10	20	30	30	30	30	—	60%	50	市民協働課
1	3	14	職員研修の実施	男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、セクシュアル・ハラスメント防止に関する研修等を実施します。	研修参加人数(延べ)	人	—	—	—	1,185	1,408	1,510	【人事課にて実施】 キャリアデザイン研修 (H27年度～) 11月3日・4日実施 対象:入所6年目職員※保育教諭は除く。28人(うち女性9人) 内容:自己理解、求められる職員像、多様なキャリア観に関する講義、討論等 ハラスメント防止研修 (H30年度～) 7月27日、8月6日実施 対象:R3年度に新たに所属長となった職員、課長補佐級職員、ハラスメントに関する苦情相談員 74人(うち女性18人) 内容:ハラスメントの定義や社会背景、事例から学ぶ対策等	達成	1,500	市民協働課
1	3	15	多様性への理解	性別や年代の異なる職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、市政に関する課題を解決するための事業の企画立案を通して、多様性への理解を深めます。	立ち上げ事業数	事業	—	—	—	1	1	—	—	達成	1	市民協働課
1	3	16	イクボスの養成	イクボス研修を実施し、部下のライフイベント毎に適切な指導をする等、両立支援とキャリア形成に対する配慮や支援に向けたマネジメント能力をもつイクボスの養成に努めます。	研修受講者数(延べ)	人	68	104	165	230	264	284	組織マネジメント力向上研修を実施しました。 概要 日時:R3年10月19日(1回) 受講者:H30年度係長昇任者 20人(うち女性6人) 内容:キャリアの振り返り、ダイバーシティ、部下のキャリア形成等	達成	280	人事課

基本目標2 ささまざまな分野における男女共同参画の推進

基本目標	施策	No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度実績	実績詳細	達成度(R3)	R3年度目標	担当課
施策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進																
2	1	17	審議会等への女性委員の登用促進	市の審議会、委員会等における女性委員の割合を高めるとともに、女性委員がいない審議会等への女性の登用を促進します。	女性委員がいない審議会等	機関	2	3	2	1	1	1	・審議会等における女性委員の登用率 29.98%(R3年4月1日時点) ・R3年度中に委員改選を予定している審議会等のうち、女性委員の割合が低い審議会等を所管している課等へのヒアリングにおいて、選出母体となる団体への協力依頼等を促しました。	65%	0	総務文書課
2	1	18	女性人材の活用促進	愛知県が実施する人材育成セミナーや女性教育指導者研修会の修了生の名簿を整備し、名簿に登録された人が審議会等で登用されるよう働きかけ、女性の人材活用を促進します。	審議会等への登用人数(延べ)	人	3	4	4	4	4	4	愛知県男女共同参画人材育成セミナー(県主催)に市民1名を派遣し、女性リーダーとなる人材の育成に努めました。	40%	10	市民協働課
施策2 職場における男女共同参画の推進																
2	2	19	市役所女性職員の研修への参加促進	女性職員の管理職への登用を促進するため、女性の職域の拡大を図ります。また、女性の意識を高め、必要な知識を修得するため、研修への参加を促します。	派遣研修への参加人数	人	35	25	28	27	14	27	・「女性リーダーのためのマネジメント研修」及び「女性職員キャリアアップ研修」への職員派遣を実施しました。2人 ・「自治大学第1部・第2部特別課程」への職員派遣を実施しました。1人 ・女性の意識を高め、必要な知識を取得するため、積極的に研修への参加を促し、女性職員の派遣を実施しました。24人	87%	30	人事課
2	2	20	市役所女性職員の管理職への登用促進	研修等を実施し、女性職員の人材育成を図るとともに、個々の能力を十分に発揮できる職場環境を整え、管理職への女性の登用を促進します。	全管理職に対する女性管理職の割合(部長～課長) (補佐～係長)	%	6.2	6.2	9.2	9.4	9.4	9.5	管理職層への女性の登用を促進しました。 級 (女性/男性) ・部長・監・課長級 6人/57人 ・課長補佐・係長級 69人/156人 ・職員数 513人/640人	97.5%	10	人事課
						%	29.6	30.3	30.0	31.7	31.7	30.7		達成	30	
2	2	21	市役所女性職員の就業継続の促進	メンター制度を実施し、女性職員の就業継続意欲を高めます。	女性職員の継続任用割合(10年目事務技術職) (10年目保育教育職)	%	90.0	100.0	100.0	87.5	82.4	100.0	下記の3つのテーマで計83組が月1回のメンタリングを実施しました。 1 管理職登用 1組 2 就労継続 64組(内 男性14組) 3 育休からの円滑な復帰 18組	達成	80	人事課
						%	37.5	60.9	44.4	29.4	56.0	44.0		達成	40	
2	2	22	女性が働きやすい職場環境づくりの推進	女性の雇用促進と定着化、女性管理職の育成支援を図るため、雇用主や被雇用者を対象に研修を実施します。	研修参加人数	人	63	9	34	26	20	21	企業の管理者・監督者・経営者を対象に、ダイバーシティ経営の考え方及びマネジメントスキルを学んでもらうための「企業人材パワーアップセミナー」を開催しました。	96%	30	商工業振興課
2	2	23	女性に対する就業支援	就職を希望する女性を対象に、セミナーや企業説明会等を開催します。	セミナー参加人数	人	46	20	42	41	20	67	・事業プランやキャリアプランを構築するとともに、起業に向けたコミュニティ形成の場を提供するため、「女性の一步を応援プロジェクト」を開催しました。(第1回8名/第2回8名) ・女性のITスキルの向上、能力開発を進めるセミナーとして、「女性のためのちょこっとデジタル入門DAY」を開催しました。(13人) ・市内を拠点とする、働きたい、起業したい女性の目標実現へ踏み出す一歩を支援するため、「働く&起業Womanのスキマスイッチ♪」を開催しました。(第1回21人/第2回17人)	79%	50	商工業振興課
施策3 地域における男女共同参画の推進																
2	3	24	臨時保育室(カンガルールーム)の設置	各種講座、イベント、市議会などの開催時に、託児サポーターが保育を行う臨時保育室(カンガルールーム)を設置し、子育て中の保護者が社会活動・学習活動などに参加できるようにします。	設置事業数	事業	104	108	119	123	29	47	子育て中の保護者への託児支援として、臨時保育室の設置及び託児ボランティアの派遣を行いました。 ・カンガルールーム設置事業数 47事業 ・託児ボランティア延派遣回数 161回 ・託児ボランティア延派遣人数 515人 ・延べ託児人数 617人	74%	120	子育て支援課
2	3	25	講座等に参加しやすい環境づくり(地域、ボランティア活動等)	男女共同参画の視点から、地域活動やボランティア活動等に、誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。	休日夜間に開催する講座の参加人数	人	102	184	146	91	32	29	・子育てカレッジ(日曜開催分) 11人 ・バパスイッチ 中止 ・育休復帰にソナエル講座(日曜、オンライン開催)18人	32%	300	市民協働課
2	3	26	講座等に参加しやすい環境づくり(生涯学習)	男女共同参画の視点から、生涯学習活動等に、誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。	休日夜間に開催する講座の参加人数	人	1,048	974	923	862	579	688	様々な感染対策を行いながら講座の対象者を想定し、誰もが参加しやすい日時での講座を開催しました。 ・56講座	68%	1,250	生涯学習課

基本 目録	施策 No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	実績詳細	達成度(R3)	R3年度 目標	担当課	
2	3	27	女性リーダーの育成	女性リーダーの育成講座を開催し、地域等で活躍する人材の発掘・育成に努めます。	受講者の団体等での活動割合	%	6.8	5.0	8.3	10.0	—	—	・子育てカレッジ修了生17人のうち、修了生の会(MIX)への参加 0人 ・レディースカレッジ…今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	15%	50.0	市民協働課
2	3	28	女性団体等への活動支援の充実(地域団体等)	地域で活動している女性団体等に男女共同参画イベントへの参画を促し、団体の活動PRや他団体との交流の場を提供し、団体を育成・支援します。	イベント参画団体数	団体	13	15	15	23	21	8	ミライク刈谷2021における各講座や講演会等の企画・運営への関わりを通して、団体同士の交流の場を提供しました。	88%	18	市民協働課
2	3	29	女性団体等への活動支援の充実(消費者生活学校)	消費生活の改善や向上を図るため、かりや消費者生活学校を支援します。	かりや消費者生活学校の会員数	人	87	88	82	79	79	70	かりや消費者生活学校のイベントや行事等の活動支援を行いました。 ・かりや消費者生活学校会員の審議会等への参画 審議会等委員延べ6人	81%	100	くらし安心課
2	3	30	女性団体等への活動支援の充実(赤十字奉仕団等)	地域で活動している赤十字奉仕団(女性団体)等の活動PRや他団体との交流の場を提供することで活動の活性化につながるよう支援します。	活動支援団体における会員数	人	283	296	296	309	300	305	・赤十字奉仕団の活動支援及び団員養成等の支援により、活動の活性化と活動範囲の拡充を図りました。 ・新型コロナウイルスの影響で地区等防災訓練が中止となる中で、感染対策を講じつつ献血呼びかけ、義援金募集活動等の活動を実施しました。 ・新型コロナウイルスの影響で各種行事が中止となる中、感染対策を講じつつ、団員向けの講習会を25回に分けて行い、団員のスキルアップに努めました。	96%	310	生活福祉課
2	3	31	女性団体等への活動支援の充実(子育て)	地域で活動する子育て支援団体や子育てサークルに、活動のPRや他団体との交流の場を提供し、団体を育成・支援をします。	支援団体数	団体	50	45	63	62	44	14	対面でのネットワーク会議を1回開催し、1回は書面開催することで、各団体の情報交換・交流の場を提供しました。 ・ネットワーク会議参加団体数 11団体 新型コロナウイルス感染防止のため、子育て支援センターでの子育てサークル開催は行えなかったが、多胎児サークルの代わりに試験的に多胎児サロンとして年に3回親子の交流の場を設けた。また、若年層のサークルは、事業時に状況確認や育児に関する情報提供を行った。	93%	50	子育て推進課 子育て支援課
2	3	32	地区委員への女性の登用	地区委員の女性の割合を高めめます。	地区委員の女性の割合	%	4.7	4.1	4.7	4.4	3.8	3.3	地区委員336人 内、女性11人	14%	30.0	市民協働課
2	3	33	女性が活躍できる場の創出	男女共同参画イベントにおいて、各種啓発講座の修了生や市民活動団体の女性が主体的に企画運営に携われるよう支援します。	企画運営に携わる女性の人数	人	—	—	13	14	53	26	ミライク刈谷2021の開催に向け、日本女性会議2020あいち刈谷 サポータークラブメンバー他、各種啓発講座の修了生から構成される団体も企画や準備・当日の進行等を主体的に行えるよう支援しました。 ミライク刈谷2021 企画運営メンバー 26人	達成	5	市民協働課
2	3	34	女性による団体の創設促進	女性のための団体創設支援講座を開催し、女性自ら活躍できる環境づくりを支援します。	女性団体の創設数	団体	—	—	—	—	—	—	日本女性会議2020あいち刈谷の開催を経て参画した人々が団体として活動できる仕組みを検討し、ミライク刈谷2021の講座の企画・運営に参加できるよう支援しました。	未達成	20	市民協働課
2	3	35	女性の活動意欲の促進	男女共同参画意識の啓発講座を開催し、さらに女性リーダーの育成講座を開催することで、女性が活動意欲を継続的に持てるように支援します。	受講者の啓発講座受講割合	%	2.9	12.0	14.7	28.6	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、レディースカレッジを中止。ミライク刈谷2021を開催し、学ぶ意欲が高く、将来地域等で活躍が期待される女性の発掘・育成に努めました。	29%	50.0	市民協働課
2	3	36	女性消防団員の加入の促進	消防団員における女性の割合を高めめます。	女性消防団員のいる団体数	団体	2	3	5	7	8	6	成人式でのチラシ等の配布実施	達成	3	危機管理課
2	3	37	防災会議への女性委員の登用促進	防災会議における女性委員の割合を高めめます。	女性委員の割合	%	12.9	12.9	12.9	12.9	16.1	16.1	委嘱の際に関係団体から推薦を得られるように働きかけました。	70%	20.0	危機管理課
2	3	38	防災関係講座への女性の参加促進	防災関係講座における女性参加者の割合を高めめます。	女性参加者の割合	%	13.5	31.0	31.0	22.7	52.0	24.0	・防災リーダー養成講座の実施 ・ボランティアコーディネーター養成講座の実施	達成	30.0	危機管理課

基本目標3 仕事と生活のバランスがとれたまちづくり

基本目標	施策	No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度実績	実績詳細	達成度(R3)	R3年度目標	担当課	
	施策1 長時間労働の是正によるワークライフ・バランスの推進																
3	1	39	長時間労働の是正手法に関する情報発信	雇用主や被雇用者を対象に、事務の効率化やダイバーシティ・マネジメントなど、長時間労働の是正手法に関する研修や、先進事例の紹介などの情報発信を行います。	研修参加人数	人	63	9	57	58	42	45	企業の経営者や従業員を対象に、マネジメントスキルの強化やビジネススキルの習得を目的とした「企業人材パワーアップセミナー」を開催しました。	57%	80	商工業振興課	
3	1	40	関係法令の周知、制度の普及促進	雇用主や被雇用者を対象に、女性活躍推進法や労働安全衛生法等関連法令の周知を行います。また、育児、介護休業制度等についての情報提供や研修を実施し、制度の普及を促進します。	研修参加人数	人	55	63	47	70	18	24	・55歳以上の高齢者を対象に、「生涯実現現役セミナー(セカンドキャリア支援編)」を開催しました。	58%	80	商工業振興課	
3	1	41	入札業者に対する意識啓発	市の入札に訪れた業者に対し、男女共同参画や女性の活躍推進に関する啓発用リーフレットを配布し、職場における意識啓発を図ります。	リーフレット配布事業所数(延べ)	事業所	100	200	300	400	450	500	市の入札に訪れた業者に対し、男女共同参画や女性の活躍推進に関する啓発用リーフレットを配布しました。	達成	500	契約検査課	
3	1	42	職場環境の改善(学校)	子どもたちの身近にいる大人の1人として仕事と生活のバランスのとれた働き方をし、生活の充実を図るよう、教職員の在校時間の縮減を進めます。	男性職員の育児休業取得割合	%	71.4	50.0	61.1	27.2	40.0	57.1	・毎月1回以上の定時退校日を位置づけ、家庭で過ごすことのできる時間の確保に努めました。 ・在校時間調査を実施し、教職員の在校時間の把握を行い、在校時間の縮減を進めました。	64%	80.0	学校教育課	
3	1	43	教職員の意識の向上	男女共同参画に関する指導の充実を図るため、教職員を対象とした男女共同参画研修、セクシュアル・ハラスメント研修等、学習の場への参加を促進します。	研修への参加割合	%	100	100	100	100	100	100	・経験の浅い教員(初任者)を対象とした研修会で、人権感覚を磨くことの大切さについて考える機会を設けました。	達成	100	学校教育課	

施策2 男性の家事・育児・介護への参画促進

3	2	44	学習機会の提供(男性参画の必要性)	男性の家事・育児・介護に参画する必要性の理解を促進するため、講座を開催し、男女がともに家庭生活に関わることの重要性についての啓発を行います。	男性向け講座の参加人数	人	34	38	36	46	—	—	今年度のパパスイッチ講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ミライク刈谷2021への男性の参加促進のため、広報等を行いました。	39%	100	市民協働課
3	2	45	学習機会の提供(健康管理)	男女を問わず、食生活を振り返り食事への知識をもつ必要性、食生活の基本の周知を図ります。	男性のための栄養教室の参加人数	人	225	214	248	201	—	99	男性の家事等への参画を促進するための講座として、男性のための栄養教室を開催しました。 ・男性のための栄養教室 5回連続講座×2回、受講者 計99人	66%	300	健康推進課
3	2	46	家事・育児等を楽しむことの推進(一般)	男性向けイベント等の開催を通して、男性が家事・育児等を楽しみながら参画できるよう働きかけます。	男性向けイベントの参加人数	人	—	—	—	—	—	—	ミライク刈谷2021への男性の参加促進のため、広報等を行いました。	達成	100	市民協働課
3	2	47	家事・育児等を楽しむことの推進(妊娠～乳幼児期)	子育てを楽しむための講話と赤ちゃんの沐浴体験、妊婦体験を通じて、家事・育児等への参画を推進します。	パパママクラスの参加人数	人	504	510	482	420	—	—	新型コロナウイルスに対する感染予防対策を講じながら妊婦への学習機会を提供しました。 パパママクラス、ミニママ教室は、感染予防対策のため中止しました。 ・フレッシュ・ママクラス6回、延べ受講者数55人	83%	576	子育て支援課
3	2	48	家事・育児等を楽しむことの推進(子育て期)	男女が協力して、ともに子育てに関わることができるよう、広報紙やかりやSmileねっとを活用した啓発を行います。	かりやSmileねっとによる情報発信件数	件	51	46	95	—	—	—	(刈谷市公式ポータルアプリ「あいかり」へスムーズに移行したため事業終了。)	達成	12	子育て推進課
3	2	49	技能習得のための講座の開催(介護)	家庭介護についての正しい知識や基本的な技術を学ぶ講座を開催し、要介護者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりに努めます。	高齢者家庭介護教室修了人数	人	1,228	1,363	1,478	1,549	1,586	1,610	高齢者家庭介護教室(ハートフルケアセミナー)を休日に行うことにより、家庭介護に関心のある男性参加者の増進を図りました。 ・家庭介護教室 3日(土曜日)、受講者 24人(うち男性6人)	達成	1,600	長寿課
3	2	50	技能習得のための講座の開催(子育て期)	男女が協力して、ともに子育てに関わることができるよう、父親の子育てへの参画を促進する講座を開催します。	講座参加組数	組	865	1,019	1,271	1,004	178	484	・父親向け子育て講座開催(2回 受講組数12組) ・「すくすくパパ広場」開催(12回 受講組数94組) ・「パパと一緒にわくわくマラソン！」開催(1回 参加組数9組) ・おとうさんと遊ぼうDAY(17回 参加組数369組)	達成	530	子育て支援課

基本目標	施策	No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度実績	実績詳細	達成度(R3)	R3年度目標	担当課
3	2	51	技能習得のための講座の開催(一般)	男性を対象にした、料理教室等の市民講座を開催し、男性の家事参画を促進します。	講座参加人数	人	13	15	182	41	17	46	感染対策に努め、男女問わず参加できる料理教室(親子教室含む)を開催しました。 ・5講座(男性参加者12人)	達成	20	生涯学習課

施策3 子育て、介護をする家庭への支援の充実

3	3	52	地域子育て支援拠点事業の充実	子育て支援センターや子育て広場において、イベント、講座等の開催や子育てに関する相談、情報提供、サークル育成等を行い、地域子育て支援拠点事業実施施設としての充実を図ります。	年間利用人数	人	168,838	160,488	166,376	148,076	42,744	66,487	・地域子育て支援拠点事業 子育て支援センター(公設)来所数 中央・南部・北部 23,798組 52,414人 ・地域子育て支援拠点事業 子育て支援センター(民間) 来所数 ひだまり 2,907人 くまっこルーム 941人 ・地域子育て支援拠点事業 子育て広場 来所数 すくすく・きらきら・のびのび・わくわく 10,225人	74%	170,000	子育て支援課
3	3	53	情報提供の充実	子育て支援センター等の子どもやその保護者の身近な施設に子育てコンシェルジュを配置し、子育てや男女共同参画に関するさまざまな情報を提供します。	子育てコンシェルジュ配置箇所数	箇所	42	44	44	44	44	43	市内43箇所の子育てに関する施設に子育てコンシェルジュを配置し、身近な施設で子育てコンシェルジュに相談できる体制を整えました。	87%	50	子育て支援課
3	3	54	保育園における低年齢児保育の充実	保育園の増改築や民間事業者が行う保育園の新設に対して支援を行い、定員の拡大を図り、待機児童解消に取り組めます。	待機児童数	人	9	12	8	11	11	4	私立保育所「かりやYMCA保育園」の新設により定員を135人増加しました。また、公立保育園4園を乳児型保育園へ段階的に移行しています。	未達成	0	子ども課
3	3	55	保育園における延長保育の充実	保護者の就労形態の多様化に 대응するため、19:30以降の延長保育実施園の拡大を図ります。	延長保育利用人数	人	760	797	884	763	670	585	公立保育園では、おがきえ保育園、あおば保育園が午後8時まで、民間保育所ではこぐま保育園、第二こぐま保育園、刈谷ゆめの樹保育園、空のうさぎ保育園、刈谷大和保育園、城のうさぎ保育園、ことり保育園、ALL4KIDSナーサリースクール刈谷が午後7時半まで延長保育を実施しました。	達成	680	子ども課
3	3	56	産前・産後休暇、育児休暇後の職場復帰の支援	出産前や職場復帰前から保育園への入園予約を受け付け、働く女性が安心して出産、子育てを行い、職場に復帰できる環境づくりに取り組めます。	実施園数	園	17	17	17	19	20	21	出生前や育児休暇明けの入園希望など、301人の入所受付を実施しました(全保育園)。	達成	20	子ども課
3	3	57	各種保育・子育て支援サービスの充実(病児・病後時保育)	保育所等に通所中の児童が、病気または病気の回復期にあり、集団保育が困難な場合、一時的に子どもを預かります。	利用人数	人	339	412	354	312	25	45	市内3箇所で随時受け入れし、病児・病後児保育事業の啓発を行いました。 かりがね病児ケアルーム利用人数:22人 親愛の里保育園利用人数:6人 依佐美おひさまケアルーム利用人数:17人	58%	426	子育て支援課
3	3	58	各種保育・子育て支援サービスの充実(一時保育)	家庭において、一時的に育児を受けることが困難となった乳幼児について、一時的に預かり、必要な保育を行います。	一時保育定員数	人	62	72	72	62	88	98	おがきえ保育園延べ2,472人、あおば保育園延べ2,197人、こぐま保育園(私立)、第二こぐま保育園(私立)、親愛の里保育園(私立)、空のうさぎ保育園(私立)、依佐美清涼保育園(私立)、城のうさぎ保育園(私立)、ことり保育園(私立)、ALL4KIDSナーサリースクール刈谷(私立)で実施しました。	達成	98	子ども課
3	3	59	ファミリー・サポート・センターの充実	育児の応援をして欲しい人と育児の応援をしたい人が会員になって助け合う「ファミリー・サポート・センター」の充実を図ります。	登録会員数(依頼会員) (援助会員) (両方会員)	人	2,872 328 141	3,033 344 140	3,196 360 132	3,178 356 110	3,026 341 96	2,932 348 89	ファミリー・サポート・センターの会員登録及び活動の促進に努めました。 ・登録会員数 3,369人(依頼会員 2,932人、援助会員348人、両方会員 89人) ・援助活動件数 6,260件	達成 達成 79%	3,180 380 150	子育て支援課 子育て支援課 子育て支援課
3	3	60	幼稚園における預かり保育の充実	保護者のニーズに応じて、幼稚園での預かり保育の拡充を図ります。	幼稚園預かり保育利用人数(延べ)	人	47,902	52,988	65,372	72,716	34,461	38,170	全15園で預かり保育を実施しました。 ・定員:40人 ・時間:早朝 7:30~8:40 保育終了後~18:30 【長期休業期間】 7:30~18:30 ・理由:母親の出産・入院・就労等 ・延べ利用者数:38,170人	達成	35,000	子ども課
3	3	61	放課後児童クラブの充実	定員の拡充と活動内容の充実を図るとともに、支援員等の資質向上、地域での人材活用を進めます。	放課後児童クラブ定員数	人	1,240	1,240	1,240	1,360	1,440	1,480	第3クラブを新たに、双葉児童クラブに開設しました。また、研修会等を開催し、支援員の資質の向上を図りました。	達成	1,480	子育て推進課
3	3	62	介護施設の整備	介護施設の整備を促進することで、家族の介護に係る負担を軽減し、介護をする家庭を支援します。	介護施設のうち施設・居住系サービスの定員	人	977	1,107	1,117	1,117	1,226	1,208	定員18人の認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の整備事業者の選定を行い、整備を促進しました。	達成	1,226	長寿課
3	3	63	認知症サポーターの養成	認知症に対する正しい知識や対応を理解する市民を養成し、認知症の人やその家族を温かく見守る地域の支援体制整備に努めます。	認知症サポーターの養成	人	7,232	7,856	8,815	9,656	10,109	10,629	認知症サポーター養成講座を実施し、地域で認知症の方やその家族を温かく見守るサポーターを育成しました。 講座実施12回、受講者数520人	達成	11,000	長寿課

基本目標	施策	No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度実績	実績詳細	達成度(R3)	R3年度目標	担当課
3	3	64	家庭介護に対する支援の充実	家庭介護を希望する家庭を支援するため、情報の提供、家族介護者交流事業、介護教室等の開催を行います。また、これらの事業への男性の参画を促進します。	支援プログラム修了人数	人	133	141	150	158	158	167	認知症の方の介護に携わっている人たちによる、実践に基づいた講義等及び介護負担の軽減、安定した在宅生活を送るために家族同士の情報交換や相談を行いました。 ・認知症家族支援プログラム6回、男性比0%(0人/9人) ・交流事業12回、男性比 35.4%(35人/99人)	84%	200	長寿課
3	3	65	妊産婦への支援の充実	安全な分娩と子どもたちの健やかな成長を支援するため、健康教育や健康相談を実施し、特に援助を必要とする妊産婦とその家族に対し、訪問指導や相談を行います。	あかちゃん訪問実施割合	%	91.2	93.1	90.2	89.5	70.0	82.5	感染予防対策を講じながら、健康教育や育児に関する相談を実施しました。 ・育児相談7回、延べ14人 ・子育て講話8回、延べ125人 ・妊娠・子育て応援室 460人 ・あかちゃん訪問 訪問人数 1,154人(市外での利用者含む。)※産婦数1,137人 訪問率 82.5%(1,154人/1,398人)	86%	100.0	子育て支援課
3	3	66	産後ホームヘルプサービスの実施	産後における母子の心身の健康を守るため、核家族世帯等を対象として、一定期間ホームヘルプサービスを実施し、家事の支援を行います。	申請によりヘルパーを派遣		—	—	—	—	—	—	産後における母子の心身の健康を守るため、産後ヘルパーの派遣を実施しました。 ・利用者数 44人 ・延べ派遣日数 546日(平均12.4日) ・延べ派遣時間数 1,101時間(平均25.0時間)	達成	—	子育て支援課

基本目標4 人権を尊重し、男女が共に健康に暮らせるまちづくり

基本目標	施策	No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	H31年度実績	R2年度実績	R3年度実績	実績詳細	プラン達成度(R3)	R3年度目標	担当課
施策1 ドメスティック・バイオレンス(DV)をはじめとするあらゆる暴力の防止																
4	1	67	DVや虐待の防止に向けた啓発(DV等)	DVの防止に向けた啓発とともに、相談窓口の情報提供を行います。	広報紙・リーフレット等による啓発回数	回	6	5	4	4	8	8	・ホームページや市民だよりにDVに関する相談窓口等の情報を掲載し、DV等の防止に向けた啓発を行いました。 ・市の情報コーナーや窓口にDV相談窓口案内リーフレットを設置し、情報提供を行いました。	65%	9	くらし安心課
4	1	68	DVや虐待の防止に向けた啓発(障害者)	障害者手帳交付時にパンフレットを配布する等により、相談窓口の情報提供や虐待防止の啓発に努めます。	障害者手帳取得者への啓発人数	人	455	484	499	586	517	559	障害者手帳取得者に虐待に関する内容が記載されている市の障害者福祉ガイドを配布し、虐待防止の啓発を行いました。 ・新規手帳取得者及び市に転入した手帳所持者の総数 559人/年	69%	750	福祉総務課
4	1	69	DVや虐待の防止に向けた啓発(高齢者)	高齢者に関するDVや虐待の防止に向けた啓発と相談窓口等の情報提供を行います。	各種会議等を活用した啓発人数(延べ)	人	638	900	1,057	1,268	1,375	1,378	民生委員・児童委員が高齢者虐待等の予防・早期発見のための声掛け啓発を行いました。地域包括支援センター職員が高齢者宅訪問により高齢者虐待等の予防啓発を行いました。	98%	1,400	長寿課
4	1	70	DVや虐待の防止に向けた啓発(児童)	DVの認識を深めるため、児童向けにリーフレット等を作成し、周知を図ります。	リーフレット等による啓発	人	552	1,060	1,050	1,160	1,524	19,792	虐待に関するポスター及びリーフレットを配布しました。(幼稚園、保育園、小学校、中学校に所属する児童の保護者全員にリーフレットを追加配布しました。)	達成	1,500	子育て推進課
4	1	71	有害環境の浄化推進	家庭・学校・地域社会が一体となって、街頭補導時に売買春や暴力を誘発する有害な社会環境の浄化活動を行います。	実施回数	回	12	12	12	12	9	10	刈谷市青少年センターに委嘱された少年補導員による合同街頭補導の際に調査し、有害環境の浄化推進に努めました。 ・街頭補導回数 10回	達成	12	生涯学習課
4	1	72	相談しやすい環境づくり(DV等)	DVや家庭問題など、特に女性が相談しやすいと思える環境づくりのため、女性の相談員を配置します。	DV相談件数	件	24	36	31	33	27	24	DV等の被害にあった女性が相談しやすいよう、女性相談員を配置し、相談に対して助言等の支援を行いました。	達成	22	くらし安心課
4	1	73	相談しやすい環境づくり(障害者)	障害者虐待に関する相談体制を充実します。また、女性が相談しやすい窓口として女性の相談員が対応できるよう努めます。	障害者支援センター相談件数	件	6,823	8,246	8,213	8,851	10,836	12,586	障害者虐待に関する相談については市で対応しており、相談の内容から虐待に関する情報があった場合には、詳細な聞き取り及び調査を実施し、障害者支援センター等の適切な支援機関を紹介しました。 ・市への相談・通報・届出件数 6件/年	達成	11,000	福祉総務課
4	1	74	相談しやすい環境づくり(高齢者)	高齢者のDVや虐待に関する相談支援体制の整備に努めます。	相談件数	件	250	228	409	284	548	432	地域包括支援センター及び市役所にて、高齢者やその家族等からの高齢者虐待等に関する相談を受けました。 ・地域包括支援センター 市内6箇所 ・地域包括支援センター 相談件数 432件/年	達成	750	長寿課
4	1	75	相談しやすい環境づくり(児童)	DVや児童虐待に関する相談支援体制の整備に努めます。	相談件数	件	174	210	206	228	278	269	DVをはじめ児童虐待等に関する相談、面接、訪問を実施しました。また、関係機関との連携に努めました。	達成	200	子育て推進課
4	1	76	DV等の被害者支援に向けた連携の充実	DVやストーカーなどの被害者支援に向け、警察・福祉・保健・医療・教育などの関係機関と連携を密にし、個人情報に配慮しつつ情報共有と早期対応を行います。また、虐待等に関する対応を協議する「要保護者対策地域協議会」との連携を図ります。	要保護者対策地域協議会実施回数	回	2	2	2	2	1	1	要保護者対策地域協議会を開催しました。	達成	2	くらし安心課
施策2 生涯を通じた健康づくりへの支援																
4	2	77	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの広報、啓発	男女共に生涯を通じて自らの身体について自己決定を行い、健康を享受する権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)の考え方について、広報を通じて、市民への啓発を進めます。	広報紙等による啓発回数	回	1	1	2	2	2	0	なし	達成	1	健康推進課
4	2	78	思春期の保健対策と健康教育の推進	児童生徒の発達段階に応じ、性に関する正しい知識等を学ぶ機会の充実を図ります。また、エイズや性感染症に関する正しい知識の普及、薬物乱用防止教育などの健康教育を推進します。	性教育、薬物乱用防止に関する授業実施校数	校	21	21	21	21	21	21	・中学校3年生において薬物乱用防止教室を開催し、生徒に薬物の危険性についての正しい理解を促しました。 ・小中学校において性に関する授業で、HIVや性感染症の防止に関わる学習を行いました。	達成	21	学校教育課
4	2	79	市民健康講座の開催	健康の保持増進に関する正しい知識の普及啓発を進めるため、市民健康講座を開催します。	参加人数	人	793	635	956	953	457	388	・健康に関して、医師、歯科医師、薬剤師等を講師に市民健康講座を開催しました。 ・開催回数19回、受講者数 388人	73%	950	健康推進課

基本 目標	施策 No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	実績詳細	プラン 達成度(R3)	R3年度 目標	担当課
4	2	80	がん検診など、健康診査事業の充実	がん検診受診割合	%	24.9	25.2	24.8	25.0	21.8	24.7	市民だよりに記事の掲載、ホームページ、各種チラシの配布を行い、知識の普及啓発と受診勧奨を行ないました。医療機関検診により、複数の健診を同時実施できるようにしています。 子宮がん検診受診者数:6,078人 乳がん検診(マンモグラフィ、超音波)受診者数:4,101人	81%	30.0	健康推進課
4	2	81	心の健康づくりの推進	精神専門相談員人数	人	8	8	8	8	8	8	障害者相談支援事業として、障害者(児)やその家族等からの健康相談に応じ、自立した生活ができるよう、精神保健福祉士等専門のスタッフによる情報提供、助言、福祉サービス利用のケアマネジメント業務等の支援を実施しました。「障害者支援センター(医療法人成精会)」へ委託・障害者支援センター 相談件数 12,586件/年	達成	8	福祉総務課
4	2	82	栄養・食生活に関する正しい知識の普及と学習機会の充実	保健推進員の養成人数	人	549	587	634	684	712	712	令和3年度から保健推進員養成講座を中止しました。養成講座と同内容で、地区の市民館等で栄養教室を実施する保健推進員のうち1年目の推進員を対象に、保健推進員1年目研修を実施しました。(R3年度保健推進員1年目研修受講者:実人数22人)	達成	600	健康推進課
4	2	83	健康づくりに必要な運動に関する知識の普及	ロコモティブシンドロームを認知している者の割合	%	46.2	48.8	51.1	52.2	53.5	52.9	健康いちばん教室、集団運動教室等にてロコモ予防について健康教育を実施しました。 健康教育実施回数:17回	63%	80.0	健康推進課
4	2	84	総合型地域スポーツクラブの整備	クラブ会員数	人	2,182	2,208	2,198	2,148	1,391	1,566	総合型地域スポーツクラブ研究会を年6回(4・6・8・10・12・2月)開催し、クラブ間の情報共有や意見交換、アドバイザーからの意見聴取をしました(6月、10月及び2月については、文書会議で開催)。12月に研究会の主催で、愛知県スポーツ協会クラブアドバイザーを講師に招き、「総合型地域スポーツクラブの今後について」というテーマで他市町の事例も交えてコロナ禍でのクラブ運営の参考となる講習会を開催しました。11月のバドミントン交流会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催しましたが、3月の卓球交流会については中止しました。	80%	2,450	スポーツ課

施策3 さまざまな困難を抱える市民への支援の充実

4	3	85	相談しやすい環境の整備(ひとり親等)	母子等自立支援員を配置し、自立に向けた相談や情報提供などを行い、母子、父子、寡婦家庭の生活の安定と自立を支援します。	相談件数	件	492	675	635	643	507	506	母子等自立支援員によるひとり親家庭相談を実施し、相談体制の充実を図りました。 ・生活一般相談件数 298件(2件) ・生活支援相談件数 163件(3件) ・児童相談件数 41件(2件) ・その他 4件 総数 506件(7件)	77%	750	子育て推進課
4	3	86	自立に向けた支援	自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の支給を通じ、母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を支援します。	自立支援事業受給人数	人	2	1	2	5	4	5	自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費の相談・支給を行い、母子家庭の母の自立に向けた支援を行いました。 ・自立支援教育訓練給付金 1件 ・高等職業訓練促進給付金 4件 ・高等職業訓練修了支援給付金 2件	63%	5	子育て推進課
4	3	87	経済的な支援の充実	母子父子寡婦福祉資金の貸付、児童扶養手当・遺児手当の支給、医療費の助成、市営住宅の家賃の減免、幼稚園・保育園の保育料の減免、就学援助等を通じ、母子、父子、寡婦家庭への経済的な支援を行います。	資金の貸付及び各種手当の支給	一	継続	継続	継続	継続	継続	継続	母子・寡婦福祉資金の貸付、児童扶養手当・遺児手当の支給等を行い、ひとり親家庭への経済的な支援を行いました。 ・母子・寡婦福祉資金貸付 相談40件、申請0件 ・児童扶養手当 全部支給311人、一部支給301人、全部停止166人(計778人) ・遺児手当 1,182人	達成	継続	子育て推進課
4	3	88	家庭生活支援員の派遣	自立促進のためや生活環境の変化により、一時的に日常生活に支障を生じている母子・父子・寡婦家庭に、家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。	日常生活支援利用人数	人	3	3	3	2	1	1	子育て支援を必要とする世帯(生活環境が激変し、日常生活を営むのに特に大きな支障が生じている世帯)に家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援しました。 ・家庭生活支援員派遣回数等 延べ182回、延べ185.5時間	72%	3	子育て推進課
4	3	89	外国人市民が相談しやすい環境づくり	困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備のため、ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・英語・中国語などの通訳が出来る相談員を配置し、外国人市民の相談の充実に努めます。	外国人相談件数	件	7,906	8,796	9,143	8,916	9,613	7,443	ポルトガル語・タガログ語・英語・中国語の外国人生活相談員が相談業務を行い、諸問題の解決を支援しました。	達成	8,000	くらし安心課

基本 目標	施策 No.	事業名	内容	指標項目	単位	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	実績詳細	プラン 達成度(R3)	R3年度 目標	担当課	
4	3	90	障害のある人を対象とした相談体制の充実	障害があることで困難を抱えるなか、男女問わず安心して暮らせるような環境を整備していくため、相談体制を充実します。	基幹相談支援センター設置箇所数	箇所	1	1	1	1	1	1	「福祉サービス」、「医療」、「生活」、「就労」、「教育」など様々な悩み事の最初の相談窓口となる基幹相談支援センターにおける相談業務を、身体・知的・精神の全ての障害者が男女問わず利用できるよう医療法人成精会へ委託しました。また、障害者手帳交付の際、基幹相談支援センターのパンフレットをあわせて配布し、周知を図りました。 基幹相談支援センター 相談件数 1,875件	達成	1	福祉総務課
4	3	91	生活困窮者への自立支援	困難を抱えた女性を含めた生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金支給等の支援を行います。	支援人数	人	25	27	22	22	30	30	困難を抱えた女性を含めた生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施等の支援を行います。	65%	40	生活福祉課